

総合研究大学院大学運営会議(第73回)議事要旨

平成22年11月10日(水)13:30~16:20 (討議事項は12:30~13:30)

学術総合センター2階中会議室1・2

(討議事項)

1. 授業料免除制度について

家計評価基準に基づいて授業料免除の順位付けを行っている現行制度の見直しについて、意見交換を行った。

(審議事項)

1. 入学料・授業料免除について

- ・入学料免除の決定(平成22年度10月入学分)
- ・授業料免除の決定(平成22年度後期分)

審議の結果、入学料免除については、1名を免除とし、それ以外の家計評価額がマイナスとなる申請者7名を徴収猶予とすることを承認した。また、授業料免除については、学資負担者の死亡による特別枠免除者1名を含む29名を全額免除許可

家計評価額がマイナスとなる申請者を徴収猶予、プラスとなる申請者を不許可とすることを承認した。

2. 日本学生支援機構奨学金申請者の推薦について

平成23年度予約採用推薦者について、審議の結果、第一種奨学生候補者2名、第二種奨学生候補者該当者なしの推薦を承認した。

平成22年度秋季入学者第一種奨学生に対する推薦については、審議の結果、5年一貫制3名、後期課程2名の候補者の推薦を承認した。

3. 国費外国人留学生(国内採用)の推薦順位について

私費外国人留学生の国内採用に係る国費外国人留学生の推薦順位について、審議の結果、1名の推薦を承認した。

4. 学術交流会に招聘する海外在住の総研大修士について

学術交流会において招聘する総研大修士について、各研究科から推薦のとおり了承した。

5. 平成22年度学内補正予算案について

平成22年度学内補正予算案について、上半期実績及び10月入学者等の動向を踏まえた授業料・入学料収入等の補正を行うとともに、補正額については、予備費とし学融合推進センター棟建設費等に充てる旨了承された。

6. 専攻運営費の配分の見直しについて

①第2期中期目標期間における収入見込と専攻運営費総額を4割算定とした場合の比較、②専攻運営費の支出実績の内訳、③第2期中期目標期間における配分見直し案のシミュレーションについて説明があった。また、現行ルールのまま、入学時の定員超過にのみ、厳格な対応をする場合と、最終学年を除く全ての学年定員超過にのみ、さらに、各研究科厳格な対応をする場合のシミュレーションについて説明があった。

専攻長会議における意見及び情報学専攻長からの意見の報告があった。各研究科長から意見の表明ののち、審議の結果、過員に対する見直し案については取り下げることに、専攻運営費を収入額の4割とすること及びメディア社会文化専攻の経過措置については、12月の運営会議で引き続き審議と

することとされた。

(報告事項)

1. 平成 22 年度政府補正予算(第 1 号)内示について
2. 平成 21 年度評価について
3. 安全保障貿易に係る輸出管理体制について
4. 入学資格に係る学則の一部改正について
5. 海外学生派遣事業派遣者の日程変更について
6. 各種会議の審議状況について
 - ・学融合推進センター運営委員会(11/5)について
 - ・教育研究担当教員会議(10/29)について
7. その他
 - ・今後のスケジュールについて